

## 第7回第3次大阪市食育推進連絡調整会議 議事録要旨

1 日時 令和6年2月27日(火) 9:45~10:40

2 会場 大阪市役所 地下1階 第11共通会議室  
※「Microsoft Teams」を利用したWEB会議と併用

3 出席者

(1) 委員 【会場参加】 川人委員 栗林委員 杉本委員 濱谷委員 葉茂委員  
平岡委員 由田委員【50音順】  
【WEB参加】 大東委員 西本委員【50音順】

(2) 事務局

(健康局) 新谷局長 吉田健康局首席医務監 寺澤健康推進部長  
片桐健康施策課長 堀生活衛生課長 時本保健所管理課長  
松尾健康づくり課長 貴田保健主幹  
蒲生歯科口腔保健担当医務主幹 天野医務副主幹  
大内田保健副主幹 村松健康づくり課長代理

(生野区役所) 松永健康推進担当課長代理

(経済戦略局) 橋本農業担当課長

(市民局) 萩平消費者センター副所長

(福祉局) 近藤地域包括ケア推進課長  
永石認知症施策担当課長

(こども青少年局) 芝母子保健担当課長 合田指導担当課長 恵保育所運営課長

(環境局) 小玉家庭ごみ減量課長代理

(教育委員会事務局) 上田保健体育担当課長 坂田次席指導主事

4 報道機関取材者及び傍聴者 報道機関：無 傍聴者：1人

5 会議次第

- |                                       |
|---------------------------------------|
| 1 開会                                  |
| 2 大阪市健康局長あいさつ                         |
| 3 議題                                  |
| (1) 第4次大阪市食育推進計画(案)のパブリックコメント実施結果について |
| (2) 第4次大阪市食育推進計画(案)について               |
| (3) 第4次大阪市食育推進計画概要版(案)について            |
| (4) その他                               |
| 4 閉会                                  |

## 6 要 旨

**議題 1：第 4 次大阪市食育推進計画(案)のパブリックコメント実施結果について**

**議題 2：第 4 次大阪市食育推進計画(案)について**

**議題 3：第 4 次大阪市食育推進計画概要版(案)について**

事務局より資料 1 から 3 に沿って説明

(主な意見・質疑等)

- ・パブリックコメントの意見 1 について、修正後「保護者の不安を解消できるよう、各区保健福祉センターでの「妊婦教室」や「離乳食講習会」等により支援を行います。」とのことだが、周知方法は、区役所での掲示やホームページのみか。  
→妊婦教室については、母子健康手帳交付時、離乳食講習会については、3 か月児健診時に周知している。
- ・パブリックコメントの意見 1 について、大阪府のホームページでは、プレコンセプションケアについて、「若い世代の健康を増進し、より質の高い生活を実現してもらうこと」「若い世代の男女が将来、より健康になること」「より質の高い生活の実現によって、より健全な妊娠・出産のチャンスを増やし、次世代の子どもたちをより健康にすること」と男女ともに将来の妊娠前からの健康管理を推進されている。その中のチェックシートには、男女共通で、「バランスの良い食事を心がけようや適正体重を保ちましょう」、女性では、「健康食品から葉酸を取りましょう」などの項目があげられている。今後、妊娠してからではなく、その前から、青少年の項目のところ、何か文言を入れてはどうか。  
→前回の評価においても、特に若い世代で朝食の欠食率が高く、野菜の摂取が少ない状況もある。女性に限らず、大学や高校等での啓発など、できるだけ早い時期から良い食習慣を身につけていけるように従来から取組を進めている。また、若年女性のやせが、栄養課題となっており、アプローチし難い世代ではあるが、取組を検討していく。
- ・資料 2 の 13 ページ、「歯と口腔の健康づくりや環境に配慮した食行動に関する啓発を行います。啓発活動においては生活環境等を踏まえるとともに、デジタル化に対応した食育を積極的に進めます。」の文言において、環境に配慮したと生活環境等の環境が重複していると思う。  
→「環境に配慮した」の環境は、いわゆる地球の環境面の意味で、今回、追加した「生活環境」は、生活状況や社会情勢をさしています。わかり難いため、「生活環境」を「生活状況」に修正する。
- ・パブリックコメントの意見が 4 件と少なかったのは、今回の計画案が、非常に良い計画だったからか、もしくは、周知があまり出来ていなかったからなのか、どのように考えているのか。また、配架数はどれくらいか。  
→内容を大きく変更した前回は、9 件だった。今回は、基本的に現計画を引き継いでおり、極端に少ないとは考えていない。また、配架数は、例えば、各区役所には 10 部配架し、なくなり次第追加で配架した。
- ・パブリックコメントの意見 1 について、母子健康手帳を交付した方は、必ず妊婦教室に参加するの

か。また、母子健康手帳の交付時には、啓発はしていないのか。

→全員ではなく、一部の方が参加している。母子健康手帳交付時には、妊婦教室で使用するリーフレットを渡している。

- ・例えば、中学生女子では、やせの生徒も増えているようだが、小学校や中学校において、栄養教諭は、どのような活動をされているのか。

→栄養教諭は、学校現場において、例えば、旬の食材やなにわの伝統野菜を使用するようなケースなど、学校給食を生きた教材とした指導やICTなどを活用した食育、保護者への周知啓発を行っている。また、栄養教諭は、全校に配置をされておらず、区内の栄養教諭が、配置されていない学校にも出向き、教育活動の中で、例えば、朝ごはんを食べる習慣など、正しい食習慣が身につくように食育を推進している。

- ・パブリックコメントの意見1にあるように、母子健康手帳交付時に、例えば、特にリスクの高い、非常にやせた方や太った方に対する保健指導は、非常に大事だが、資料2の15ページ、「妊婦教室」や「離乳食講習会」等により支援を行います。」の文言の「等」にそのようなことが含まれているのか。

→含まれている。今後、何らかの形でアプローチできるよう検討していきたい。

- ・栄養教諭が、全校配置されていないということだが、大阪市として、全校配置されないのか。

→食育を推進していく保健体育担当としては、全校配置が望ましいと考えている。しかしながら、国の配置基準があり、その配置基準を超える栄養教諭については、大阪市独自の財源で、配置をしなければならず、現時点において全校配置というところには至っていない。

#### 議題4：その他

事務局より資料4及び大阪黒菜について説明

【委員より意見・質問等なし】